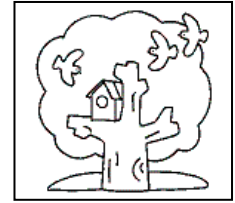


2011年春号

ぷらう 44号



発行：TEACCH プログラム研究会

<会長のつぶやき>

東日本大震災

TEACCH プログラム研究会会長 内山 登紀夫

2011年3月11日に「東北地方太平洋沖地震」が発生した。その日は所用で都内千代田区九段下にいたのだが、あまりに大きく長い揺れに驚き、しばしば仕事を中断した。その後、救急車や警察車両がひっきりなしに行き来し、騒然とした。仕事は余震の度に暫時中断したが、継続し終わったのが6時過ぎだった。そこでテレビを初めてつけて、大地震であることを知った。すべての電車が止まったため、帰宅難民となり、すぐ近くの九段会館で天井が崩れて二人が死亡したのを知ったのは翌日だった。翌々日から英国への出張があり、慌てて準備をして出国した。地震の詳しいことを知ったのは英国に着いてからテレビやネットで情報を得てからである。

英国ではローナウイング先生を始めとして多くの自閉症関係者に会ったが、すべての方が日本の震災についての見舞いの言葉を語って下さった。TEACCH 部の方もメジボフ先生始め多くの方から見舞いのメールを頂いた。

多くの被災者の方が苦難の時を迎えていると思う。私たちには、やはり自閉症スペクトラムの人や家族のことが気になる。私は日常、福島と横浜を行き来しているのだが、福島の状況のほうがやはり深刻である。関係者の話では3月下旬の時点では避難所に避難している自閉症の人はそれほど多くないという。避難所は自閉症の子どもにとって辛い環境だろうし、親も周囲の人に気兼ねして自宅にとどまっている人が多いらしい。てんかんを合併している場合には薬の確保も重要である。

災害は「普段の生活」「予測できる環境」を根こそぎ奪った。地震後2週間たっても福島の町は暗い。店が閉まっていたり、ビルの電気が消えていて物理的に暗いのである。ガソリンが入手できないために移動が極端に制限されている。普段なら気晴らしになる買い物やデイケアや遊びにも行けない。テレビ番組も大幅に変更されている。悲惨な状況が繰り返し放映され、放射能の恐怖を皆が語る。普段の食べ物がない。被災した自閉症の子どもは慣れ親しんだ環境も、好きなビデオも本もない。

アスペルガータイプの方は放射能の被害に強い不安感を持つ人もいるだろう。関東で実施されている「計画停電」は、実際には全く「計画的」ではなく、直前まで実際に停電するのかわからない。

こういう事態が自閉症スペクトラムの人にとって、どんなに大変な状況になりうるか、会員の方なら容易に想像できると思う。

このような非常事態であっても自閉症支援の基本は同じである。予測できる環境、理解できる環境、苦痛になる刺激が少ない環境が彼らには必要である。「直面化」は避けたほうが良い。災害の場面を繰り返しテレビで見ることは避けたほうが無難である。なるべく、本人の好きなことで時間を過ごすように配慮しよう。

私たちが普段の支援で心がけていることが実行できるように、それぞれができることをやるしかない。「自閉症の理解」が今こそ必要です。会員みんなで社会に対して、自閉症理解をすすめたい。

実践研究会 in 愛知を終えて

愛知支部(実践研実行委員) 北山 達成

実践研の感想文を書くように言われて、気安く引き受け、「楽しかったなあ…」と書き始めたところで不気味な揺れと共に震災の映像が飛び込んできました。それからは一種の「思考停止」とでも言うのでしょうか。気がつくと、時間があれば画面をみつめながら「そんな、バカな…」とつぶやく日々が続きました。しかし、実際に震災に遭遇した人たちは、そんな事を考える余裕もなく、生きるためにたたかっている訳で、自分、これではいけないと思い直し、まずは、実践研を振り返ることにしました。

実践研 in 愛知の終了後、実行委員の一人として私は「我々はラッキーだったなあ」と感じていました。藤岡先生からは TEACCH 研、立ち上げの時の空気をリアルに、ドラマチックに伝えていただきました。大学の仕事が重なった内山会長も 2 日目には参加できました。佐々木先生も名古屋での講演のあと、2 日目に合流していただきました。さらに田川先生も1日目の実践報告に参加・コメントをいただきました。田川先生は、この実践に関わっている NPO の I さん親子とは十数年の関わりがあり、I さんも関わった実践ならと万難を排して参加して下さったようです。(終了後も、とても貴重なお話の時間が持てたと、I さんから聞きました。)

分科会発表も、どれもテーマをふまえた、意欲的でかつ楽しいものでした。愛知ではこの分科会発表をきっかけに、新たな勉強会も始まりそうです。

という事で、「良かった、うまくいった、ラッキーだった」と感じた訳なのですが、今考えると「ラッキーは、少し違うぞ」と思うようになりました。

「良かった、うまくいった」は、そうなのですが、「たまたま、今回ラッキーに運んだ」というのではない。なんというか、「参加するひとり一人が、大事なものを持ち寄り、それをシェアする…それは実践だったり、作り上げたものだったり、思いだったり…その持ち寄り集まる気持ち」みたいなものの強さを「じわ一つ」と感じています。そしてこの強い思いが実践研を、また TEACCH 研自体を引っ張っているんだなあと思います。(すみません、今頃感じていて…)参加して一緒に作り上げて下さったみなさまにお礼申し上げます。

2 年後の「実践研 in 石川」には、今度は私も、自分なりに大事な何かを持ち寄りたいな、と思います。

震災の話にもどります。震災に遭われた方、支援に奮闘されている方、そして子ども達、「出来ないところではなく、今出来ることを」「弱いところではなく、それでも持つてる強みを」「悲しい事はあるけど、明るい光を見て」とお伝えしたいと思います。そして私は何が出来るか、考えます。

「やれるところからやっといこう」という発想は、多分 TEACCH の理念にも近いのでは、と思いながら。

嵐 吹き荒れても 望みうばわれても 悲しみは通り過ぎ行く 陽も輝くだろう

陽気にいこう どんな時でも 陽気にいこう 苦しいことは 解ってるのさ さあ 陽気にいこう

Keep On The Sunny Side アメリカ民謡 訳詞・高石ともや「陽気にいこう」

実践研究大会に参加して

神奈川支部 <社会福祉法人県央福祉会> 足立 修一郎

平成 23 年 2 月 26 日～27 日、愛知県で TEACCH 研究会・実践研究大会がありました。私は都合により 1 日だけ参加させて頂きましたが、貴重な時間を過ごすことができました。

基調講演『地域に根付く支援』では、つばさ発達クリニックの藤岡宏先生の話が聞けました。先生が学生時代に ASD の人と出会った時の話や、初めて TEACCH プログラムと出会った時の話を聞けました。

講演の中で、連携の重要性を訴えていました。以下資料からの引用ですが、『ASDの人への支援は特性理解に始まり特性理解に終る。子供の特性への理解をスタッフ間で正しく共有し、家族を含めた連携の環を作り、ライフサイクルを通して支援のスムーズな移行を図っていくことが、支援する者の責務である。』と訴えていました。

後半の実践報告では、愛知県瀬戸市発達支援室での取り組みが紹介されました。スタッフは、保育士、保健師、教員、心理士などで構成されているそうです。それぞれが、子供の支援にあたりつつ、関係機関との連携を持っていて、様々なエピソードが紹介されていました。スタッフそれぞれは、障害特性について共通の理解を持ち、親御さんと連携を持ち、一貫性のある支援(方向の一貫性、引継ぎ、支援員間・家族との情報の共有)を図っていく。こうして、お母さんを元気に、笑顔にしていけることを志向していると話していました。

私はこの「お母さんを元気に、笑顔に」という言葉がとても印象に残りました。利用者さんの生活をお母さん一人に抱え込ませることなく、みんなで支えあっていくことが大事なんだなと思いました。普段行っている支援で、利用者さん自身も明るく元気に過ごすことも大事ですし、親御さんの笑顔を引き出ししていくことも大事です。当たり前の感想になってしまいましたが、改めて自分の支援に対する方向性を確認することができました。ありがとうございました。

実践研究大会in愛知に参加して

愛知支部 木村雅美

2011年2月26日、27日に、愛知県の「ウインクあいち」にて第10回実践大会in愛知が開催されました。

1日目は、つばさ発達クリニックの藤岡宏先生の基調講演「地域に根付く支援」ではじまりました。藤岡先生が愛媛県にて実践されて来たこと、TEACCH との出会い、今治市にASDを対象とした小さな発達クリニックを開設してから実践されていることを、素敵な映像を交えて紹介してくださいました。藤岡先生の温かい心と、映像の美しさに、感動し涙が溢れました。

愛知県瀬戸市発達支援室からの報告では、保育士・保健師・教員・心理士・親という様々な立場の方が連携している様子を紹介してくださいました。地域に、このような発達支援室があることを私はうらやましく感じました。

2日目の分科会。私は、U18に参加しました。

「特別支援学校とNPOによる地域支援」というタイトルで、岐阜県中濃特別支援学校教諭・山田慎二先生が、地域の軽度知的障がいを持つ高校生を対象とした、SST講座を中心に学ぶ場を提供されている実践を報告してくださいました。まずは小さな集団で視覚的に学び、その後実際の現場で実践し、フィードバックするという方法や、「デート」など、今HOTな話題をテーマにして、講座を行っているということから、自閉症の方の学び方から工夫された実践だと思いました。また、京都府からの「『Kirala』5年間の活動」では、歌・楽器・ダンスの余暇活動の中での、TEACCHの取り組みを、映像を交えてわかりやすく報告されていました。

2日間の実践研究大会に参加して、TEACCH研究会の方々の地域での活躍を知り、私自身大きな力をいただきました。そして、大会終了後には、佐々木正美先生、内山登紀夫先生からのお話。

「自閉症の人が自閉症という障がいを持ったまま幸福に生きていくこと」

この言葉を胸に、これからもTEACCH研究会の会員として、自分にどんなことが出来るかを考え実践していきたいと思えます。

最後に、今回の実践研究大会に関わってくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

実践研究大会に参加して

愛知支部 黒柳 裕子

藤岡先生のお話を聞き、つばさ発達クリニックが地域の中でとても重要な役割を果たしていると思ったと同時に、地域との連携の大切さを改めて感じました。特に連携の質の向上というお話はとても印象に残っています。

家族支援とはよく言いますが、私は家族との連携という考え方はしていませんでした。TEACCH の理念を考えれば当たり前のことではあるかと思いますが、親をよきパートナーと捉え、家族と連携して支援していくという考え方は、自分の支援を見直すきっかけとなりました。

また、日頃の支援の中では、子どもを正しく理解し敬意をはらった支援をしようと心がけていましたが、これと連携との結びつきについては考えたことがありませんでした。その人にかかわる支援者たちが、その中心にある人に対しての共通理解をしていくことで、一貫した支援、連携につながっていくというお話を聞き、すごく納得させられました。しかし、それと同時にその難しさや課題も感じています。まずは同じように相手を理解しようとする同志を見つけ、そこから少しずつ広げていけたらと思いました。

2日目の分科会は U10 に参加しました。具体的な実践をいくつか見せていただき、とても参考になりました。すぐに取り入れたいと思えるものがいくつもありました。

しかし、それ以上に様々な考え方を聞き「はっ」とさせられたり、「なるほど」と思ったりすることが多かったです。

「行事は日頃の支援の延長にある」というお話を聞き、「行事があるから」と行事のための支援をしていたところがあったのではと反省させられました。日頃の支援を活かして行事に取り組むことが、子どもたちにとっては負担が少なく、自信にもつながりやすいように感じました。行事にも活かせるように、いかに日頃から個々に合わせた支援に取り組んでいるかが大切であるように思いました。

また、カームダウンのエリアを用意してもらった子を見て、「自分の部屋が欲しい」と言った定型発達の子に対しても、それぞれに同じように部屋を用意するという先生方の考え方は、これらの支援を特別なものではなくしていると感じたし、まわりの子どもたちがそれを当たり前に入れていくことにつながっているように思いました。どの子にとっても分け隔てなくかかわってみえる先生方の姿勢に感動したと同時に、そういう姿勢が周りの子どもを育てることにもつながっているように思いました。

それから、私はこれまで保育園に行く子どもたちに対して、「集団に入れるように」ということをすぐに考えていましたが、「まずは集団が心地よく、安心できるということを大切に」という話を聞き「はっ」とさせられました。一番大切なことを忘れていたように思います。

朝岡先生のお話を聞き、ASD の子どもたちを特別な子どもとして見るのではなく、一人の人として大切にしていこうということを改めて考えさせられました。

本当に充実した2日間を過ごすことができました。ありがとうございました。



平成23年度 第1回理事会報告

平成23年度第1回理事会は、2月26日(土)10:00-13:00 ウィンクあいちにて行われました。

参加理事:村松、宇山、諏訪、檜原、茶木(黒田代)、五味、中井、笠合、北山、小川、
藤井、丸田、森田、草原、内田、進藤、三ヶ田、岡本、井上、濱田(会計)

この理事会での決定事項および継続審議事項についてお知らせいたします。

- 議案1. 平成23年度理事および役割の確認
議案2. 平成22年度活動報告
議案3. 平成22年度会計報告、特別会計報告
議案4. 香川トレーニングセミナー2010の実施報告:草原理事より
議案5. 平成22年度各支部事業報告について
議案6. 平成23年度活動予定
議案7. コラボレーションセミナー2012案:村松常任理事より
2012年2月18日(土)~19日(日)に京都市シルクホールにて開催。
テーマは「高機能自閉症スペクトラムの人たちの生涯にわたる支援」。
基調講演はメジボフ先生にお願いすることに決まった。
議案8. 平成23年度予算案について
以下の新規予算計上・予算額増が決まった。
① HPの業者管理委託費 100万円
(業者委託することについてはH22年第2回理事会にて決定)
② 第3回講師招聘事業運営費(コラボレーションセミナー2012) 160万円
現在積み上がっている予算をより多くの会員にフィードバックするため、運営費を増額し
し会員参加費を前回の半額とする。
議案9. 平成23年度特別会計積立金用途について
① トレーニングセミナー必要物品を購入することになった(2012 in鳥取の開催に向けて)。
管理費も含めて
② その他、より有効な用途について引き続き検討していくことになった。
議案10. ぷらう44号(2011年春号)に掲載する内容、分担が決められた。
議案11. その他
1. 土倉事務所による会員名簿・会費管理について再確認すべき項目について話し合った。
各支部への会員情報連絡を半年に1回から3カ月に1回実施依頼することに決まった。
2. 次回、平成23年度第2回理事会は、6月18日(土)、京都(メルパルク京都)にて午後1:30
より開催されることとなった。

平成23年度 総会報告

平成23年2月27日(日)11:30よりウィンクあいちにて佐々木正美先生のお話を伺った後、平成23年度の総会が行われました。

総会では、以下の5点について会員の皆様の承認をいただきました。

議案1 平成23年度の理事および役割について

☆…新理事

支部	H23年度役割	理事氏名
常任	会長・講師招聘事業	内山 登紀夫
常任	副会長・講師招聘事業	村松 陽子
常任	副会長・HP 研修(トレセミ、実践研)	宇山 秀一
常任	研修(トレセミ、実践研)	諏訪 利明
北海道		楢原 永都子
東京		黒田 美保
神奈川		☆ 五味 純子
山梨		中井 百合子
石川		☆ 笠合 竜明
愛知		☆ 小川 真紀
滋賀		藤井 依子
京都	講師招聘事業	丸田 富美代
大阪	事務局	井上 芳子
兵庫		大西 俊介
鳥取		☆ 森田 礼子
香川		草原 比呂志
福岡		内田 博昭
佐賀		進藤 久見子
大分		三ヶ田 智弘
熊本	広報	岡本 美由紀

* 平成22年度の会計監査担当は、以下の2名の方をお願いすることになりました。
監事 水野 敦之氏(佐賀) 中村 眞喜子氏(愛知)

議案2 平成22年度活動報告

- 1月29日(土) 平成22年度第1回理事会
(京都)
- 1月30日(土)～31日(日)
コラボレーションセミナー2010(京都)
- 1月30日(土) 平成22年度総会
機関誌『ぷらう』42号(春) 発行
- 7月10日(土) 平成22年度第2回理事会
(京都)
- 8月6日(金)～8日(日) トレーニングセミナー
(香川)
機関誌『ぷらう』43号(秋) 発行

議案3 平成22年度会計報告

参照:平成22年度会計報告
平成22年度特別会計積立金
会計報告

平成22年度 TEACCHプログラム研究会 会計報告	
* 会計年度 平成22年1月1日～平成22年12月31日	
<収入>	
前年度繰越金	¥1,164,571
会費	¥3,927,000
第9回実践大会運営費残金(熊本)	¥1,454,444
利息	¥259
合計	¥6,546,274
<支出>	
名簿及び会費管理費 (¥400×2,541名 + ¥200×399名)	¥1,056,200
理事会交通費(2回分)	¥806,576
理事会会議費(2回分)	¥8,369
第10回実践大会運営費(愛知)	¥200,000
トレーニングセミナー運営費(香川)	¥200,000
第3回講師招聘事業会場費	¥450,200
ホームページ管理費	¥13,406
通信費	¥31,315
振り込み手数料	¥2,940
雑費(事務局用品購入など)	¥12,070
特別会計積立金	¥1,000,000
合計	¥3,781,076
<収支>	
収入¥6,546,274－支出¥3,781,076＝2,765,198	
残金¥2,765,198は、次年度に繰り越します。	
以上の通り、相違ありません。	
平成23年2月10日	TEACCHプログラム研究会 会計担当 濱田 美波
平成23年2月20日	TEACCHプログラム研究会 会計監査 水野 敦之
	中村 眞喜子

議案4 平成23年度活動計画

2月26日(土) 平成23年度第1回理事会
(名古屋)

2月26日(土)~27日(日) 愛知実践研究大会
(名古屋)

2月27日(日) 平成23年度総会
機関誌『ぷらう』44号(春)発行

6~7月 平成23年度第2回理事会
機関誌『ぷらう』45号(秋)発行

* 上記以外、必要に応じて総務委員会を数回、開催する予定。

議案5 平成23年度予算案

参照:平成23年度予算案

TEACCHプログラム研究会 平成23年度予算(案)

<収入>	
前年度繰越金	¥2,765,198
会費 (¥2,000×2,371名×0.8) *資料	¥3,793,600
入会金 (¥1,000×200名)	¥200,000
合計	¥6,758,798

<支出>	
名簿及び会費管理費 (¥400×3,000名+¥300×200名+¥700×35回)	¥1,295,000
通信費	¥20,000
理事会交通費(2回)	¥1,200,000
理事会会議費(2回)	¥30,000
総務委員会交通費	¥200,000
総務委員会会議費	¥30,000
第3回講師招聘事業運営費	¥1,600,000
ホームページ製作管理費	¥1,000,000
雑費(事務局用品購入など)	¥20,000
予備費	¥1,363,798
合計	¥6,758,798

平成22年度 TEACCHプログラム研究会 特別会計積立金 会計報告
* 会計年度 平成22年1月1日~平成22年12月31日

<収入>	
前年度繰越金	¥5,059,400
一般会計より	¥1,000,000
第2回講師招聘事業返金	¥450,200
寄付(井上理事より口座開設費用)	¥1,000
利息	¥1,563
合計	¥6,512,191

<支出>	
振込手数料(鳥取支部より送金)	¥840
合計	¥840

<収支>
収入¥6,512,191-支出¥840=¥6,511,351
残金¥6,511,351は、次年度に繰り越します。
以上の通り、相違ありません。

平成22年2月10日 TEACCHプログラム研究会 会計担当 清田 美奈
平成22年2月20日 TEACCHプログラム研究会 会計監査 水野 良之
中野 幸子



ホームページ担当からのお知らせ

日頃から、TEACCHプログラム研究会ホームページをご覧いただき、ありがとうございます。しかし、実際のところ、十分に機能していない部分が多くあり、会員の皆様には大変ご迷惑をおかけしております。現在のホームページは、HP作成ソフトを使い、更新しています。そのためソフトを持っている人しか、更新をすることができないため、十分な更新ができておりませんでした。

今後は、秋ごろを目指して、HPをリニューアルする予定です。リニューアル後は、WEB上で、更新することができるようになりますので、各支部にHP担当スタッフを配置し、支部情報は随時更新できるようにしてゆきたいと思っております。また、本部事業に関しましては、各事業担当理事が更新していきますので、ホットな情報をお送りできると思っております。それまでは、現在のHPにて、ご案内させていただきます。

今回のパスワードは、前回とおなじく **yonaga** になります。

TEACCH コラボレーション セミナー 2012

2008年から始まったコラボレーションセミナーも3回目を迎えます。過去2回のセミナーは非常に充実した研修の機会だったと反響をいただき、3回目もさらに良い学びの機会にしたいと思っています。

3回目の今回は、ゲーリー・メジボフ先生を講師にお迎えして、高機能自閉症スペクトラムの人たちの生涯にわたっての支援についてご講演いただくことになりました。高機能自閉症やアスペルガー症候群と診断される人たちの数が急激に増加しており、早期診断が可能になっている反面、大人になってから診断される人も多くみられます。このような人たちに我々はどのような支援を行えばいいのか、講演や実践報告やディスカッションを通じて学びたいと思います。

今回はより多くの方々に参加していただけるように、本部会計からの支出を増やし、参加費を値上げすることにしました。会員の方は前回の10,000円が5,000円、非会員の方は15,000円が10,000円と、大幅に安くなっております。ぜひお誘いあわせの上、多数ご参加下さい。また、まだ会員でない方がこの機会に入会されることも歓迎しますので、各支部をとおしてご入会ください。

講 師: **ゲーリー・メジボフ 氏** (ノースカロライナ大学教授・前 TEACCH 部部長)

日 程: **2012年2月18日(土) / 19日(日)**

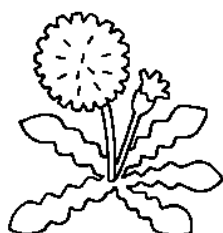
会 場: **京都シルクホール** (京都市営地下鉄烏丸線四条駅、阪急烏丸駅 下車すぐ)

参加費: **会員 5,000 円** **非会員 10,000 円**

プログラム

- **講 演**
『高機能自閉症スペクトラムの人への生涯にわたる支援 一幼児期から成人期まで一』
- **実践報告とディスカッション**
『高機能自閉症スペクトラムの人への支援』
TEACCH 研の会員から日本の実践を報告し、メジボフ先生と情報や意見の交換を行います。

詳細は、秋に配布するチラシまたはホームページをご覧ください。申し込み方法もその際にお知らせいたします。お見逃しなく!



各支部活動計画

<北海道支部>

運営会議

場所:北海道発達障害者支援センターあおいそら/北海道教育大学附属特別支援学校

件名	日時	内容
平成23年度 北海道支部総会	1.29	平成22年度事業報告 決算報告 監査報告 平成23年度事業計画(案) 予算(案)他
第1回運営委員会	2.1	企画研修会について
第2回運営委員会	4.5	企画研修会について
第3回運営委員会	5.31	企画研修会について
第4回運営委員会	9.27	企画研修会について・来年度計画について
第5回運営委員会	10.25	来年度計画について・平成24年度総会について
第6回運営委員会	12.6	来年度計画について・平成24年度総会について

※平成24年度支部総会は H24.1.17(火)北海道教育大学附属特別支援学校にて開催予定

勉強会・研修会

件名	日時	内容	講師
第1回	1.29(土)	会員限定学習会 「自閉症の方の就労支援の現場から」	就労援助室あるば 大澤 隆則 氏
第2回	5.14(土) ~5.15(日)	小貫悟氏講演会 ※オープン参加	明星大学 小貫 悟 氏
第3回	5月~6月	ミニ学習会「ASDの特性と構造化」 ※会場や時間帯を変えて3回実施 ※オープン参加	北海道支部運営委員
第4回	未定	講演会(於札幌・共催)	未定
第5回	8月~9月	ミニ学習会「TEACCHの歴史と理念」 ※会場や時間帯を変えて3回実施 ※オープン参加	北海道支部運営委員
第6回	11.19(土)	実践報告会 ※オープン参加	未定

会報発行

件名	発行時期	内容
第1報	2月下旬	平成23年度総会報告、勉強会案内 他
第2報	4月	ぶらう(本部会報)
第3報	6月下旬	勉強会報告、勉強会案内 他
第4報	9月上旬	勉強会報告、勉強会案内 他
第5報	10月	ぶらう(本部会報)
第6報	10月上旬	勉強会報告、勉強会案内 他
第7報	12月上旬	勉強会報告、総会案内 他

<石川支部>

- ・1月10日(日) 第9回総会
講演会 佐々木正美先生(児童精神科医、川崎医療福祉大学特任教授)
「発達障害の療育～コミュニケーションの苦手な人たち～」
場所 石川県地場産業振興センター本館大ホール
- ・2月26日(土)～27日(日)TEACCH プログラム研究会実践研究大会 in 愛知
理事会、TEACCH プログラム研究会年次総会
- ・2月 休み
- ・3月13日(日)9:30～12:30 第51回例会
場所 金沢市教育プラザ富樫予定
・実践報告か事例検討
- ・4月予定(日)9:30～12:30 第52回例会
場所 金沢市教育プラザ富樫予定
・実践報告か事例検討
- ・5月8日(日)2011連続セミナー第1回
講師 村松陽子さん(京都市児童福祉センター児童精神科医
京都市発達障害者支援センターセンター長)
内容 自閉症の特性と理解
場所 金沢市教育プラザ富樫予定
- ・6月 休み
- ・7月3日(日)2011連続セミナー第2回
講師 諏訪利明さん(神奈川県海老名市立わかば学園園長)
内容 構造化について
場所 金沢市教育プラザ富樫予定
- ・9月18日(日)2011連続セミナー第3回
講師 中山清司さん(自閉症 e サービス代表 オフィスぼん&天才塾 bon 主宰)
内容 コミュニケーションについて

- 場所 金沢市教育プラザ富樫予定
- ・10月未定(日)9:30~12:30 第53回例会
 - 場所 金沢市教育プラザ富樫予定
 - ・実践報告か事例検討
 - ・11月27日(日)2011連続セミナー第4回
 - 講師 小坂正栄さん(日本ポーターズ協会石川湖南支部認定指導員)
 - 笠合竜明さん(金沢手をつなぐ親の会 知的障がい児対象児童クラブ「すずかけクラブ」主任/ボランティアコーディネーター)
 - 内容 問題行動への対応
 - 場所 金沢市教育プラザ富樫予定
 - ・12月未定(日)9:30~12:30 第54回例会
 - 場所 金沢市教育プラザ富樫予定
 - ・実践報告か事例検討

＜山梨支部＞

今年度は、昨年同様一般向けの普及活動が続ける傍ら、TEACCH 研メンバー内で研鑽をつみTEACCH プログラムの実践に結び付けられるような活動を展開したい。

【運営会議】

件名	日時	内容
第1回運営委員会	1/26(水)	・今年度計画 ・総会準備
総会	2/5(土)	
第2回運営委員会	5月18日(水)	
セミナー派遣(2名)	8月	
第3回運営委員会	9月	・セミナー参加者報告会を兼ねる
第4回運営委員会	11月	
第5回運営委員会	12月	

【勉強会・研修会】

件名	日時	内容
第1回 講演会	6/19(日)	・諏訪利明先生(TEACCH 基礎講座Ⅱ)
トレセミ派遣(2名)	8月	
第2回 講演会	12/3(土)	・中山清司先生(TEACCH 基礎講座Ⅲ)
ミニ学習会(緑の風)	2/2(水)	自閉症の特性や TEACCH プログラムについて
ミニ学習会(勝沼)	2/10(木)	自閉症の特性や TEACCH プログラムについて
ミニ学習会	9月	トレセミ出席者による内部報告会
ミニ学習会	未定	サポートノートについて

＜東京支部＞

	日程及び会場		講師・発表者	テーマ
1	3/21(月) 13:00～ 東京ウイメンズプラザ 視聴覚室 (地震のため中止)	定期総会 勉強会 親睦会	内山登紀夫	「TEACCH の誤解を解く」
2	4/24(日) 10:00～16:30 国立オリンピック記念青 少年センター	基礎講座 1	諏訪利明	「TEACCH 概要」 「自閉症の学習スタイル」 「構造化」
3	6/4(土) 13:00～16:30	基礎講座2	安部陽子	「評価について」
4	7/30(土)31(日) 10:00～17:00	2Day ワークショップ	黒田美保	「評価～PEP3 実習～」
5	9/11(日) 10:00～16:30	講演会	中山清司	「就労について」
6	10月 or 11月	事例検討会	未定	未定

＜神奈川支部＞

日時	内容	会場
2月26・27日	第10回 TEACCH プログラム研究会実践研究大会 in 愛知	愛知県産業労働 センター 「ウインクあいち」
4月20日(水) 18:45～21:00	◆TEACCH プログラム研究会神奈川支部 総会 「グリーンビルTEACCHセンターだより」 講師 高橋 絵美子氏	おださがプラザ 多目的ルーム
5月18日(水) 18:45～21:00	「家庭の中の暮らし ～工夫あれこれ～」 講師 角田 みすゞ氏	おださがプラザ 多目的ルーム
6月15日(水) 18:45～21:00	「自閉症の学習スタイル」 講師 諏訪 利明(海老名市立わかば学園)	おださがプラザ 多目的ルーム
7月13日(水) 18:45～21:00	「構造化された教育」 講師 諏訪 利明(海老名市立わかば学園)	おださがプラザ 多目的ルーム
9月23～25日	【ミニトレセミ】「評価から構造化へ」 ※詳細が決まり次第、お知らせいたします。	おださがプラザ 多目的ルーム

10月21日(金) 18:45~21:00	「特別支援学級での実践」 講師 ^{ひさくら} 久蔵 幸生氏(札幌市白楊小学校)	おださがプラザ 多目的ルーム
11月9日(水) 18:45~21:00	「自閉症のコミュニケーション支援」 講師 諏訪 利明(海老名市立わかば学園)	おださがプラザ 多目的ルーム
12月4日(日)	【ワークショップ】「TTAP」 講師 中山 清司氏 (自閉症 e サービス 代表)	未定

おださがプラザ:相模原市南区南台3-20-1

小田急相模原駅北口 ラクアルおださが4階

* 日程及び内容はあくまでも予定ですので、変更になる場合があります。変更のある場合は随時、TEACCH プログラム研究会神奈川支部ブログ <http://teacch-kanagawa.blogspot.com/> でお知らせします。

TEACCH プログラム研究会 神奈川支部事務局
〒242-0022 神奈川県大和市柳橋 5-2-7 県央療育センター内 宇山
【TEL】080-3250-2115 【FAX】046-269-0067
【e-mail】teacchkanagawa@yahoo.co.jp

< 愛知支部 >

日時	活動内容	講師	会場
1月29日 (土) 14時~16時 16時~ 16時30分	○「現場で学ぶここだけの話」 ○ 愛知支部総会	小野 宏氏 (豊田西病院/愛知支部顧問)	ウインク愛知
2月26日 (土) ~27日 (日)	● 実践研究大会 IN 愛知		ウインク愛知
5月22日 (日) 10時~15時 30分	○基礎講座 「基礎から学ぶ TEACCH プログラム -自閉症の理解と支援-」	諏訪利明氏 (海老名市立わかば学園)	名古屋市 女性会館
7月30日 (土)	○愛知支部勉強会		ウインク愛知
11月 (未定)	○事例検討会	岡田 眞子氏	(未定)

3/19(土) 13:30~16:30 京都社会福祉 会館	宮島恵理華さん	保護者	「学校と親との協働について」 学校に自閉症の専門的な理解とTEACCHプログラムを希望し、また担任の先生がその希望を聞いてTEACCHプログラムを実施し、本人が変容した事例についての報告をしていただきます。
5/21(土) 13:30~16:30 京都社会福祉 会館	長谷川円香さん	社会福祉法人 イエス団 障がい児・者ホームヘルプ 事業「ゆうりん」	「行動援護利用者の支援」 行動援護の支援の中で安心して充実した時間を過ごしていただけるように実施してきたことを紹介していただく中で、様々な工夫やアドバイスなど意見交換をしていきたいと思っています。
7/16(土) 13:30~16:30 京都社会福祉 会館	平木真由美さん	北総合支援学校 養護教諭	「学校の保健室から、構造化、視覚的支援を使った性教育」 高機能の生徒に対するロールプレイも行う予定です。
9/17(土) 13:30~16:30 京都社会福祉 会館	石井 憲夫さん	社会福祉法人 あらぐさ福祉会	「サポートセンターあらぐさ」の取り組みから～社会福祉法人あらぐさ福祉会が「サポートセンターあらぐさ」を開設して約2年。施設内だけでなく、外出先や訪問先で、自閉症の人の支援をする中で起こる様々なエピソードや感じていることを参加者と一緒に考えていきたいと思っています。
11/19(土) 13:30~16:30 京都社会福祉 会館	二宮 実加さん	花ノ木医療センター	「個々の子どもに合わせて何に焦点を当てて支援していけばよいか？」 40名定員の通園の子ども達を9クラスに分け、個に応じた支援を目指し取り組んでおられます。毎日変わるクラスの構造化及び療育内容等についてお話していただきます。

＜大阪支部＞

月日 (曜日) 時間	支部主催の事業・内容・講師	会場	会報の発行	総会など
1月		堺市民会館		運営委員会
3月			年間講座予定表郵送	
4月			いまあじゆ発行	
5月28日 14:00 (土) ~ 16:30	月例会 「自閉症の特性を理解しよう」	堺市民会館 小集会室		講演終了後、総会 運営委員会

6月18日 (土)	14:00 ～ 16:30	月例会 「きっちり理解しよう『構造化』 Part1」	堺市民会館 大集会室		
7月23日 (土)	14:00 ～ 16:30	月例会 「きっちり理解しよう『構造化』 Part2」	堺市民会館 小集会室		運営委員会
9月24日 (土)	14:00 ～ 16:30	月例会 「いっしょに楽しもう『余暇』」	堺市民会館 小集会室		運営委員会
10月1日 (土)	14:00 ～ 16:30	公開講座 「最新の自閉症診断について (仮題)」 講師 内山 登紀夫 氏 (よこはま発達クリニック)	クレオ大阪北 ホール	いまあじゆ 発行予定	
11月26日 (土)	14:00 ～ 16:30	特別講座 「最近のTEACCHプログラム情報」 講師 高橋 亜希子 氏 (大阪府発達障害者支援センター)	堺市民会館 小集会室		運営委員会
12月			堺市民会館		運営委員会

★月例会 参加費 大阪支部会員 500円 他支部会員 1000円 非会員 1500円
学生 500円 家族(家族に会員がいれば)500円

<兵庫支部>

月日(曜日) 時間	支部主催の事業・内容・講師	会場	総会など	
4月23日(土) 14:00～16:00	年度計画の確認とこれからの方向 について	エコミール加美	支部総会 13:30～	
5月21日(土) 14:00～16:00	例会:会員実践発表	エコミール加美		
7月23日(土) 14:00～16:00	例会:会員実践発表	エコミール加美		
9月24日(土) 14:00～16:00	例会:会員実践発表	エコミール加美		
11月26日 (土) 14:00～16:00	例会:会員実践発表	エコミール加美	支部総会	



＜香川県支部＞

会場:かがわ総合リハビリテーションセンター

※ 内容、講師は変更する場合があります。

※ ☆は第3日曜以外の月です。★は会場が別会場の月です。

※ 1月、8月は例会お休みです。

※ 自閉症支援基礎講座

(1回15分～30分)は初めて自閉症の方に携わる方に合わせた基礎的な内容を繰り返しとりあげます。

★ 2月20日 平成23年度新規会員総会

「本人の豊かな暮らしのための支援アイテム～アナログからデジタルまで～」

NPO法人ふぁみりいNOTE 丸岡 玲子 氏

* 自閉症支援基礎講座①会場:香川県社会福祉総合センター 第一研修室(6F)

(2月26日～27日 TEACCH研実践研究大会in愛知)

★★ 3月21日(春分の日) 13:00～16:00

公開講演会 「社会性を育てる支援～余暇と社会活動の構造化」

海老名市立わかば学園 園長 諏訪利明 氏

会場:香川県社会福祉総合センター 大会議室(7F)

会員無料、非会員 1000円

4月17日 座談会:「自閉症の支援～お悩み相談室」

* 自閉症支援基礎講座②

5月15日 「よくわかる!自閉症の特性理解と“実践的”支援方法」(*基礎講座③)

高松養護学校 西村 健一 氏

6月19日 「自閉症のある子どもへのコミュニケーション指導について」(仮)

香川大学教育学部 准教授 坂井 聡 氏

7月17日 「発達障害のある子どもたちへの指導・支援について～特別支援教室すばるでの実践より」(仮)

香川大学教育学部特別支援教室すばる 次長 馬場広充 氏

9月18日 「旬の話題」(仮)

あじの里地域生活支援センター(香川支部代表理事) 草原 比呂志 氏

* 自閉症支援基礎講座④

10月16日 「実践発表1 成人」

福祉サービス事業所等

* 自閉症支援基礎講座⑤

11月20日 「実践発表2 学校」

特別支援学校

特別支援学級

12月18日 「自閉症への医療面からのアプローチ」(仮)

えないメンタルクリニック 繪内 利啓 氏

＜鳥取支部＞

月	日	時間	支部主催の事業・内容・講師	共催、後援事業・内容	会報の発行	総会、世話人会など
1月	27日		休会			
2月	24日	19:00～20:30	年間計画 フリートーク			

3月	24日	19:00~20:30	自閉症の特性について			26日 定期総会
4月	28日	19:00~20:30	教材作成 パート1			
5月	26日	19:00~20:30	教材作成 パート2			
6月	23日	19:00~20:30	PEP-Ⅲ 使い方と利点			
7月	28日	19:00~20:30	PEP-Ⅲ 使い方と利点 ②	3日 基礎講座(自閉症協会主催)		
8月	25日	19:00~20:30	フリートーク			
9月	22日	19:00~20:30	社会性の支援について			
10月	27日	19:00~20:30	支援レベルの学習と 実習編	自閉症カンファレンス (自閉症協会主催)		
11月	24日	19:00~20:30	余暇スキルについて (情報交換)			
12月	22日	19:00~20:30	反省会・忘年会			

定例会 毎月第4木曜日 時間 19:00~20:30 場所 境港市児童発達相談センター 陽なた

＜佐賀支部＞

月	日	時間	内容	講師	会場	備考
1月	29 (土)	9:30~ 11:30	定例学習会 行動の問題について	中山政弘 氏	ほほえみ館	
3月	19 (土)	9:30~ 11:30	定例学習会 事例検討会		ほほえみ館	支部総会
4月	3 (日)	9:30~	自閉症協会 共催 世界自閉症啓発デー	映画上映	佐賀市文化会館	
	16 (土)	9:30~ 11:30	定例学習会 自閉症の特性	服巻智子 氏	アバンセ	ぷらう 春号送付

5月	14 (土)	9:30~ 11:30	定例学習会 構造化①	進藤久見子 氏	メートプラザ	
6月	25 (土) 予定	9:30~ 11:30	定例学習会 コミュニケーション	服巻智子 氏	未定	
7月 8月	未定		公開講演会 社会性の支援	服巻智子 氏	未定	
9月	17 (土)	9:30~ 11:30	定例学習会 構造化②	水野敦之 氏	ほほえみ館	
10月	15 (土)	9:30~ 11:30	定例学習会 移行支援	五所朱里 氏	未定	ぷらう 秋号送付 代表者会
11月	26 (土)	9:30~ 11:30	定例学習会 IEP	下川ゆかり 氏	未定	
12月	24 25	8:00~ 17:00	佐賀支部 トレーニングセミナー		未定	

※講師の都合により期日が変更になることもあります。

【問い合わせ先】

佐賀支部代表 中原特別支援学校 進藤久見子
Tel・FAX 0952-33-4887
E-mail kumikomm1023@yahoo.co.jp

<福岡支部>

日時	活動内容	アドバイザー (すべて予定)	会場
2月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付		
3月12日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 内容:報告(実践研究大会・九州山口自閉症研究協議会) 話題提供「自閉症スペクトラムに関する最近の研究動向」 提供者:井上哲雄氏(西南学院大学)	井上哲雄氏 (西南学院大学)	西南学院大学
5月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状・ぷらう送付		

6月11日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 内容:実践報告 報告者:募集	納富恵子氏 (福岡教育大学)	西南学院大学
8月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状送付		
9月10日(土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 内容:実践報告 報告者:募集	緒方よしみ氏 (福岡市発達障がい者支援センター)	西南学院大学
11月	○自閉症スペクトラム実践研修会案内状 ぶらう送付		
12月10日 (土) 13:30~16:00	○自閉症スペクトラム実践研修会 内容:記念講演 講師:未定 ○平成24年度総会		西南学院大学

＜熊本支部＞

期 日	研修内容・講師	
1月15日(土)	支部総会	総会
	勉強会	「アメリカで見たこと・考えたこと」 ～ノースカロライナTEACCHセンター研修報告～ はっとり心療クリニック 服部陵子先生、西玉恵先生
3月5日(土)	講演会	「自閉症の幼児期から移行期の一貫した教育と支援」 広島県社会法人つつじ 発達障害児市町支援体制推進事業 ディレクター 水野敦之 先生
4月16日(土)	基礎講座Ⅰ ＜講演会＞	「自閉症の特性と支援」 福岡市発達障がい者支援センター ゆうゆうセンター 所長 緒方よしみ 先生
5月21日(土)	基礎講座Ⅱ ＜講演会＞	「(仮)自閉症児の学童期の支援～家庭との連携」 京都市発達障害者支援センター“かがやき” 副センター長 澤 月子 先生
7月16日(土)	実践講座Ⅰ	未定
9月10日(土)	基礎講座Ⅲ	「(仮)構造化について」 川崎医療福祉大学医療福祉学科 講師 重松 孝治 先生
10月15日(土)	実践講座Ⅱ	ワークショップ開催予定 (対象;基礎講座受講者) 「自立課題作り(仮)」(定員30名) こども総合療育センター 橋口 美代子 先生
11月(11日(金)準備) 12日(土) 13日(日)	ミニトレーニング セミナー	内容「未定」 トレーナー: 海老名市立わかば学園園長 諏訪 利明先生 天才塾 Bon 代表 中山 清司先生



<大分支部>

1月30日(日)13~16時 総会+実践相談会(大分大学教育福祉科学部附属特別支援学校)

2月26日、27日 愛知実践報告会

3月 おやすみ

4月24日(日)13~16時 基礎講座①+実践相談会(大分大学教育福祉科学部附属特別支援学校)

5月 おやすみ

6月19日(日) 吉田友子先生講演会 (大分大学旦野原キャンパス)

7月3日(日) 佐々木正美先生講演会 (大分県教育会館)

7月31日(日) 1Dayトレーニングセミナー(大分大学教育福祉科学部附属特別支援学校)

9月 おやすみ

10月23日(日)13~16時 基礎講座②+実践相談会(大分大学教育福祉科学部附属特別支援学校)

11月20日(日)13~16時 基礎講座③+実践相談会(大分大学教育福祉科学部附属特別支援学校)

12月 おやすみ

※基礎講座担当:肥前精神医療センター 三ヶ田智弘

